

第4回 蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議 概要

- 1 日 時 平成27年8月5日（水）午後1時開会・午後4時閉会
- 2 場 所 市民会館大会議室
- 3 会議参加者 ファシリテーター 恒川和久
委員
天野忠則 早川康子 高柳幸枝 村松敏夫
高田 稔 坂部三智 鈴木康祐 加藤晃祥
本多英夫 遠藤朋志 小林千紗 星野有美
尾崎佳奈

4 次 第

- ① 本日の会議内容説明
ファシリテーターより会議内容について説明。
- ② 市民会議がまとめる提言書について

<p>・提言書について (ファシリテーター)</p>	<p>この会議では市民の視点で公共施設のあり方を検討しているところですが、これまで本当にたくさんの意見を頂きました。これまで出された意見は本日の会議資料にまとめてあります。これらの意見を市民会議より提言書として公共施設のあり方を市へ提出する予定で、今日の会議からは具体的な提言内容について議論を進めて行きたいと思います。</p>
<p>・蒲郡市公共施設マネジメントの流れ (ファシリテーター)</p>	<p>・資料1「蒲郡市公共施設マネジメントの流れ」を説明 この市民会議は市の基本方針策定前に、市民目線で今後の公共施設をどの様にしていけば良いかを提言するという事で非常に重要な位置づけになるかと思えます。</p>
<p>・提言書の内容について (ファシリテーター)</p>	<p>これまでの議論で皆さんから出された意見をもとに公共施設のあり方を考えると提言書の内容は大きく別けて3つの構成になろうかと思えます。</p> <p>①財政状況や社会情勢の変化を踏まえた公共施設のあり方 ②街の魅力を高めるための公共施設のあり方 ③公共施設マネジメントの推進方策のあり方</p> <p>①、②は皆さんに意見をたくさん頂いた内容となっており、③については新しい分野でまだ議論されていない部分です。この部分については本日の最後にご意見を頂こうと思っています。</p> <p>この様な構成でどうかと考えていますがもっと大事な論点などご意見があればお願いします。またここまでで質問があればお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>

<p>・①財政状況や社会情勢の変化を踏まえた公共施設のあり方</p>	<p>これまでの会議で出された意見のまとめをファシリテーターから説明（資料1 P5、P6）</p>
<p>各委員の意見</p>	<p>これまでの意見はこのまとめの内容になると思いますが、ここで重要だと思う事や新たな意見、議論した事で不足している事など意見をお願いします。用意した資料1の10ページに記入する用紙を用意してありますので記入してからお一人ずつお聞きします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模の縮小化は必要だと思うが、適正規模を考えていくことが必要。 ・複合化、統廃合を行うには先の見通しをもってニーズや場所、計画性が必要。 ・社会状況に対しては人口減少を止める方策も必要だ。（企業誘致や魅力ある建物づくり） ・人口減少が止まらない現実もあると思うので統廃合などは避けられない。 ・50年後をイメージした計画が必要ではないか。ランニングコストも考えながら早めの統廃合・複合化が必要なものもあるそのための投資は必要だと思う。 ・まちづくり＝公共施設と捉えている。そのうえで公共施設をどうするかについて市民が考える時代になってきたと思う。一人でも多くの意見を集めるのが重要に思う。この様な会議を何回でも行うのが重要ではないか。 ・子供から老人までが同施設を利用できれば望ましい。 ・学校を街のシンボルとして学校を中心とした総合的な複合施設を考えたい。 ・施設の統廃合を考える場合、単純に利用者数などの数字だけで判断するのではなく、施設をとりまく環境や場所の特性なども考えて行う必要がある。 ・人口推移を考えるとある程度統廃合は必要だが、一律に何%削減という方法ではなく、蒲郡市の特性を活かして投資をすべきとき・ところでは、予算措置をして投資すべき。 ・施設の統廃合の際には、統一的な情報発信や、みんなの情報を受けることができるようなセンターがほしい。 ・利用度の低い施設を無くしたり、施設の収益性を高めたりなど、徹底的にムダをなくすよう努めた上で、施設の知名度を高めるよう周知・PRする必要がある。 ・施設がどのようにして利用されているのか、小中学校の教育の中で伝えていくのがよいのではないか。

<p>・②まちの魅力を高めるための公共施設のあり方</p>	<p>これまでの会議で出された意見のまとめをファシリテーターから説明（資料1 P8）</p> <p>ここで重要だと思う事や新たな意見、議論した事で不足している事など意見をお願いします。資料1の10ページの記入用紙に記入してからお一人ずつお聞きします。</p>
<p>各委員の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時期「音楽のまち蒲郡」をテーマに盛り上がったことがあり、何らかの魅力あるまちづくりをめざすためには、音楽教育の振興をキャッチフレーズとすることも一つの考え方であると思う。 ・ハードではなくソフトでのサービス提供という考え方は、施設というハードを縮小していてもサービス提供水準を維持できるので、とてもよいと思う。 ・まちの魅力を考えるときに、市民の暮らしやすさに注目する考え方と、他市から見て魅力的という考え方の二つの考え方があると思っており、地域に密着すべき施設と市として機能確立すべき施設とを二つに分けて運営調査をしていくとよいのではないか。 ・地域に密着すべき施設は、地域の人たちの意見を取り入れて地域ごとに考えていければ、将来的にも大切に利用してもらえるのではないか。 ・市民アンケート結果を見ると、施設をよく知らない人が多いことがわかる。視野を広げてもらうためにも、施設には地域独自の活動をしている施設と市内全域にわたって利用する施設との住み分けを考えていく必要がある。 ・地域の施設は、地域の方にその利用方法や施設のあり方、その地域にどれだけの量が必要なのか、を説明すべき。 ・市内全域で考えるべき施設は、収容人数などのキャパの問題や予算の問題があること、市民利用型の施設と市外観光型の施設との住み分けを考えていく必要がある。 ・老人と子どもをイメージして施設を考えると、歩いて行ける距離にある施設は使いやすいと思う。 ・ホームページをもっと改良すれば、施設の利用に関する検索がしやすくなるのではないか。 ・文化の特化を考えると、例えばダンスができる施設のような、近隣にはない施設を導入すれば魅力的になるのではないか。 ・学校と公民館の複合のように、地域でできることは地域に任せる。 ・地域密着型の施設は歩いていける距離にあるほうがよいと思うが、市全体で考えるような大きな施設は公共交通機関を利用していける場所にあったほうがよい。 ・建物ばかりが公共施設ではない。蒲郡の施設には西浦から大塚まで

	<p>の長い海岸線に防潮堤があり、これを活用して公共交通機関利用活性化と合わせたまちづくりを考えられるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの情報やサービス、イベントの情報の共有化も必要。 ・地域に密着した施設は、その地域で必要なサービスを提供できればよいので、施設ごとにサービスは違っていてもよいと思う。 ・集客率が高い観光施設に隣接して、シャッターの閉まっている商店街があると印象がよくない。魅力を高めるためにも何か対策を考えたほうがよい。 ・駅から遠い、駐車場が狭いなど立地条件が悪いと、施設で優れた催し物を開催しても、なかなか集客できない。 ・公共施設の利便性を高めることは重視すべきで、地域内では不便に感じるサービスがあっても、中心地である蒲郡駅周辺まで行けばすべてが揃うという施設があればよいと思う。 ・海岸線や山などの観光資源を活用し、その景観に合った色調やイメージを持つ公共施設を考えていく必要がある。 ・訪れてみたいまちには、歴史的な背景がキチンとあると思うので、蒲郡の産業の歴史などが色濃く残る建物があれば、そこを借りてみんなが集えるような場所として考える手法があるかもしれない。 ・主要駅周辺に図書の出借・返却など、通勤・通学途中に立ち寄って用事を済ませ、軽い飲食などができるような利便性の高い複合施設があるとよい。経費に関しては、施設を統廃合して余剰分を売却し資金を捻出すべきである。
<p>・③公共施設マネジメントの推進方策のあり方</p>	<p>公共施設マネジメントの推進方策に関する先進事例をファシリテーターから説明 (資料1 P9、資料2)</p>
<p>各委員の意見</p>	<p>公共施設マネジメントの推進方策のあり方について、先進自治体の取組等を踏まえた推進方策例を参考に、蒲郡はどう進めていくべきか、大事なことは何なのか考えていただき意見ををお願いします。資料1の11ページに記入用紙を用意してありますが、必ずしもフォーマットにとらわれることなく意見をお書きください。意見を記入してからお一人ずつお聞きします。</p> <p>① 効果が大きいと思われる推進方策とその理由</p> <p>◎PDCAサイクルによる管理……2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に中長期的な視点で管理できる。 ・比較的短い時間でマネジメントを実施できるのではないか。 <p>◎ロードマップの作成……3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な方向性を決めた上で、その時点時点の状況を見ながら計画

を立て直していくことが必要。

- 基本的な大きな考えをつくりあげ、それぞれ細かい計画を立てていく。考え方をしっかりさせた上で、進めなければ計画できない。
- 5年間という期間を定めて、その中で計画的にやっていくのがよいと思う。

◎施設の役割・機能別のマネジメント…… 3名

- 地域で必要な施設と、市域全体で考えていく施設とで役割をきちんと分け、地域施設は地域の人たちに任せてやっていかなければならない。蒲郡の特性を活かした施設ができるのではないか。
- 地域ごとにそれぞれ考え方が違うと思うので、役割・機能別のマネジメントが必要ではないか。
- この方法が自分にとって一番わかりやすい方法である。

◎縮減割合等に関する数値目標の設定…… 1名

- 削減目標が決まらなると、予算規模がわからないのではないか。

◎市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

- 市民会議のような場を設けることで、市民に必要なことが見えやすくなると思う。

◎民間の知恵の導入…… 1名

- 民間手法を行政にもっと取り入れていかなければならない。

◎トップマネジメント…… 1名

- 推進方策例として挙げられていることはすべて重要。選挙で選ばれた市長が自分の信念に基づき、決めていくべき。

◎民間目線によるマネジメント…… 1名

- 人事異動で変わらないような継続的な体制が必要。そのためには何をやりたいのかを明確にすべき。

② 効果が出ない・実施が難しいと思われる推進方策とその理由
(意見がある方のみ)

◎PDCAサイクルによる管理…… 2名

- 誰が最終的決断を行うことができるだけの権力を持っているのか疑問がある。(浜松型の市主導の方法に対する意見)

◎ロードマップの作成…… 1名

- 期待度が低い。

◎市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

- みんな意見が違う。

◎広域連携による公共施設マネジメント…… 2名

- 他市と連携して実施することが想像できない。
- これが実施できれば効果は出ると思うが、実施が難しいのではないかと思う。

③ その他に取り組むべき推進方策とその理由

(意見がある方のみ)

◎ロードマップの作成…… 1名

- ・市が一つになるということが大切(自覚を皆が持つ)。

◎庁内横断的な推進体制の構築…… 1名

- ・文化・スポーツ多方面から意見を集約する。

◎市民への積極的な情報開示…… 2名

- ・情報の共有が大切だと思う。

◎市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

- ・やはり公共施設を使う人である市民の意見は取り入れられるべきである。

◎役所全体の研修、市民の研修…… 1名

- ・意識を高めるために。

④ 蒲郡市が優先的に取り組むべき方策

(意見がある方のみ集計)

◎優先順位 1

- ・PDCAサイクルによる管理…… 2名

- ・施設の役割・機能別のマネジメント…… 1名

- ・市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

◎優先順位 2

- ・ロードマップの作成…… 2名

- ・市民への積極的な情報開示…… 1名

- ・市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

◎優先順位 3

- ・ロードマップの作成…… 1名

- ・市民会議の設置など、市民との協働体制の構築…… 1名

- ・庁内横断的な推進体制の構築…… 1名

⑤ 市民としてどう公共施設マネジメントに関わっていきたいか

(本日のまとめ、感想も含めての発言)

- ・民間はトップが経営を間違えると倒産するが、市は倒産の心配はない。もっとシビアに周囲から情報を得て、トップが正しい判断をする必要があると思う。民間の手法を取り入れるということは、常に費用対効果を念頭においてお金を使うということである。

- ・市役所の職員全体が公共施設マネジメントを大切であると認識してほしい。

- ・例えば小学校の校舎を木造建築で建てたらどうかといった、もう少し細かいところで関わっていけるとよいと思う。

- 今後も市の計画に関する市民会議などに参加する機会があれば、関わっていききたいと思う。
- ボランティアに携わっているので、協力できることがあればお手伝いしたい。
- 市民の意見からニーズを拾い上げて、何を必要としているのかを認識した上で、ロードマップやPDCAサイクルをつくっていただきたい。
- 文化の面で関わる機会があれば、また関わっていききたい。
- 自分が必要だと思う施設については何かしら意見を言うことができたらいと思う。
- 各地域で小さくてもよいので、みんなが集まることができる場所を設け、お茶が飲めるようなサロンのような場所をつくるなど、いろいろな立場の人の気持ちを汲んで、公共施設を考えてみたい。
- 市役所職員も縦割りではなく横のつながりを広げてもらって、職員も市民も積極的に情報の開示をして意見を述べる機会ができたらいと思う。
- 自分が使っている施設について語りたと思う。
- よく知らない施設については、その施設のことをよく知ることができるよう研修も必要ではないか。
- 今後も何らかの形で話をできる機会があるとよいと思う。
- この会議の実施がどういう形になったかを委員全員を集めて説明いただき、市長懇談会を開催してほしい。